

# Pacific Net

## 特別号

2017.12発行

### マンション管理における 高齢者対応について



## 高齢者対応の活動紹介

太平洋興発や管理組合が行なっている  
様々な活動をご紹介します

### ■2017年度(H29年度) その他の活動

#### パシフィック星置ヒルズ

4月18日 —— コープさっぽろ配食お弁当試食会

11月25日 —— 高齢者マンションライフ勉強会～終活のイロハ～

#### パシフィック・ヒルタウン・SAPPORO

6月17日 —— 高齢者マンションライフ勉強会

6月28日 —— コープさっぽろ配食お弁当試食会

#### 太平洋興発 社内研修

7月13日 } 太平洋興発 H29年度 第1回管理員研修会  
14日 } 「認知症サポーター養成講座」

6/6[火]

パシフィック星置ヒルズ

### 「健康体操」体験会



パシフィック星置ヒルズ集会室にて、健康体操の体験会が開催されました。当日は札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置地区の長田相談員及びピュムス札幌内科リハビリテーション病院の土岐理学療法士指導のもと開催いたしました。セラバンドという器具を使って休憩を挟みながら1時間程度の開催となりました。その後も月2回ほど集まって体操を継続しているとのことでした。

10/7[土]

ロイトン札幌

### 太平洋興発 H29年度 第2回管理員・清掃員研修会



ロイトン札幌にて弊社管理マンションの管理員と清掃員を対象に認知症とビル清掃の研修会が行われました。当日は札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置地区の長田相談員を講師に招き、認知症について、その症状や対応方法を詳しく紹介いただいたほか、介護保険の制度や利用についてのポイントもご説明いただきました。

10/21[土]

パシフィック・ヒルタウン・SAPPORO

### 高齢者マンションライフ勉強会～終活のイロハ～



パシフィック・ヒルタウン・SAPPOROの集会室にて、一般社団法人終活マイライフの代表理事 榎木泰子氏を講師に招き、「高齢者マンションライフ勉強会～終活のイロハ～」を開催しました。「終活」といっても、実際よくわからない人が多いと思います。そんな終活のイロハをわかりやすく説明していただきました。未来ノートの限定プレゼントもあり、大変充実した内容となりました。

—— 豊かな暮らしのために ——

**太平洋興発株式会社**

東証一部上場

太平洋興発札幌支店

検索

札幌支店 / 〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目2-1 太平洋興発ビル3F(代表) TEL 011-251-1201 FAX 011-231-1289 <http://www.taiheiyo-net.co.jp>

■本社 / 〒111-0041 東京都台東区元浅草二丁目6番7号 マタイビル6階 ■釧路支店 / 〒085-0018 釧路市黒金町7-4-1 太平洋興発ビル ■帯広支店 / 〒080-0010 帯広市大通南8-1-1 太平洋興発ビル





## 第2回 太平洋興発セミナー

日時 2017年11月11日(土) 13:00~16:00 場所 札幌全日空ホテル



# マンション管理における 高齢者対応について



11月11日(土)「第2回 太平洋興発セミナー」が開催されました。

このセミナーは管理マンションの役員の方を招いて、入居者の方々の高齢化に対して、管理組合として今後の様な対応が必要になってくるかを話し合う機会として開催しています。今回は高齢化問題、介護問題に詳しい淑徳大学の結城教授を招いて〈基調講演〉と〈シンポジウム〉の2部構成で実施いたしました。

### 第1部

基調講演

## マンションライフにおける 高齢者対応

結城 康博氏

淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授

#### 独居高齢者や老夫婦世帯の増加

ご存知の通り独居高齢者や老夫婦世帯が増加しています。2030年には約7割が高齢者世帯となると予測されています。

私も埼玉県にある400世帯ほどが入居する築30年ほどのマンションに住んでおります。ここで2年間持ち回りで理事(総務担当)を務めました。古築の物件になりますと、終の住処と考える人が多いこと、孤立死のこと、オートロックがバリアとなり見守りが出来ないなど、高齢化に伴う多くの問題がございます。また、認知症の方とのトラブルを未然に防ぐためには、認知症への理解も必要です。この様に高齢化による孤立死など、マンションの資産価値を考えると決して他人事ではありません。

#### マンション理事会における問題

理事会役員の人手不足や高齢化という問題もございます。特に50~100戸程度のマンションでは同じ人が何年も理事をしているケースも多いのではないのでしょうか。

入居者に要介護者が増えてくると、デイサービスや配食サービス、高齡化から様々な課題が出てくるのです。それらに対応するためにも理事会の役割は大きいですが、そもそも理事会の担い手が高齡化しているという問題です。

#### 高齡化問題の解決策として

プライバシーの問題はありますが、高齡化問題の対応策としては、マンション内のコミュニティを作ることが大切です。特に高齡者になるとコミュニケーション能力が落ちてきて、周りから孤立してしまいます。具体策として、まずは挨拶することを啓発してはいかがでしょうか。また75歳以上でラジオ体操クラブを作っている例もあります。これからの高齡化社会に対応するには理事会や管理会社が率先して何らかのコミュニティ活動をおこない、安否確認や認知症の早期発見をしていく事が必要だと思えます。

#### Profile

結城 康博(ゆうき やすひろ)

1969年生まれ、淑徳大学総合福祉学部卒業、法政大学大学院政治学研究所博士課程・経済学博士課程修了。現在は淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授。大学卒業後、東京都特別公務員となり、障害福祉センター(デイサービス)で介護関連や在宅介護支援センター、地域包括支援センターで勤務後、研究者へ転職。社会福祉士、介護福祉士であるほか、介護支援専門員で社会保障審議介護保険部会委員等歴任。著書やTV出演多数。



### 第2部

シンポジウム

## マンション高齢者の 今と将来

淑徳大学総合福祉学部  
社会福祉学科 教授  
結城 康博 氏

一般社団法人終活マイライフ  
代表 理事  
檜木 泰子 氏

NPO法人シーズネット  
副理事  
杉谷 憲昭 氏

太平洋興発株式会社札幌支店  
取締役支店長  
山本 崇

第2部はシンポジウムとして、檜木氏をコーディネーターに役員の皆様からの質問に答えていく形式となりました。多くの質問がありましたが一挙抜粋してご紹介します。

Q 役員のなり手がいないことに困っています

杉谷氏——この問題は非常に多く聞きます。これに関しては役員の負担を軽減することが必要だと思います。そして皆さんでサポートしていくことだと思います。管理会社に細かいことをお願いすることも方法です。いろいろな方法を話し合ってみてください。

Q 集会場が無い場合、空住戸を利用することはできますか？

山本——管理規約等の変更が必要ですが、同様の問題をかかえるマンションも多く、管理会社として周辺に集まれる場所を提案できないか、なども今後、検討していきたいと思っております。

Q 認知症と思われる方の見分け方はありますか？

結城氏——様々な変化が出てきます。例えば、突飛な格好をする様になったり、いつも挨拶をする人がしなくなった、ゴミ出しができなくなるといった事象です。いつも



杉谷氏



檜木氏



山本



と違う行動をする様になったら気をつけてみましょう。

質問のほか、参加者の皆さまから取り組み事例の紹介も出るなど、活発な意見交換がおこなわれました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。